

Distinguished Learner選抜入試 採点基準について

採点項目		採点基準
主体性	リーダーシップ	目標を示したり、周囲の意見を聞いたりしながら、チームを上手くまとめて、議論を進めていくことができる
	論理的に考える力 論理的思考力	説明や内容の筋道がはっきりしていて、課題に対する回答も適当であり、周囲を納得させられる内容である
	チームワーク	グループ内で論じ合いながら、意見が対立することもためらわず、アイデアを出し、チームの成果を出すために、自分の役割を認識し、実践することができる
	客観的視点・判断力	自分のことについて一歩引いた視点で見て分析することができ、現状を変えるために下した判断も的確である
創造性	独自性 発想力	自分の成果物を制作するにあたり適切なツールやデザインを選択し、その人らしいユニークな表現をすることができる
	デザイン 開発	対象とする受け手を念頭に置きながら、適切な表現やデザインの手法を選択することができる
	探究心	課題や題材について必要があればインターネットを利用したり、考えを深めることができる
	批判的思考力	既存の仕組みや製品デザインについて見直し、新たな解決策やアイデアを生み出し提案することができる
チャレンジ精神	好奇心	課題解決について深く興味関心を持ち、ポジティブに思考、企画書上に表現することができる
	トライ&エラー	企画書でうまく表現できなかった部分を論述でカバーしたり、意見や内容についてさらに補填することができる
	自己調整力、計画性	課題解決に向けて適切な目標設定ができ、進行をコントロールし、課題解決のプロセスについて分析をし、適切に評価・方向の修正をすることができる
	社会とつながる (枠を越える力)	さまざまな社会的な枠を越えながら課題解決できるアイデアが提示されている（現実的な要素を含んでいる）

各項目の得点は採点基準を5段階で下記のように採点する。	
5	項目の基準を満たしていて、さらに出来がよい。
4	項目の基準を満たしてできている。
3	項目の基準をやろうとしているが、不十分であったり、適切でない。
2	項目の基準をやろうとしているが、的外れであったり、方向性が全く異なる。
1	項目の基準についてやろうとしない。または全くできていない。